



アメリカ合衆国駐在 特命全権大使 山田重夫

JAAGA 創立 30 周年記念誌への寄稿文

この度は、JAAGA 設立 30 周年の節目を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。在アメリカ合衆国日本国大使として、皆様のこれまでの多大なるご貢献に対し、心より敬意と祝意を表します。

1996 年の設立以来、JAAGA は航空宇宙分野における日米の懸け橋として、官民の枠を超えた人的ネットワークを強固に築き上げてこられました。それは、丸茂会長をはじめとする JAAGA 訪米団ご一行による継続的なワ

シントン D.C.訪問を含む内外での活発な活動によって成し遂げられたものであります。この 30 年という歳月は、JAAGA と会員の皆さまが米国と共に歩んできた歴史でもあり、皆様の活動が航空自衛隊と米空軍・宇宙軍との信頼関係をより確かなものとしてきたことに、深く感謝申し上げます。

今日、日米両国を取り巻く安全保障環境は、かつてないほど複雑かつ困難な様相を呈しています。しかし、どのような厳しい局面においても、日米の「絆」が揺らぐことはありません。日米関係は、単なる二国間の外交や戦略的な利害の一致を超え、強固な「信頼」によって支えられています。この「信頼」こそが、揺るぎない日米同盟の礎であり、自由で開かれた国際秩序を維持し、地域の平和と安定を支えてきたと確信しております。

特に航空宇宙領域においては、技術の進歩が防衛のあり方を根本から変えようとしています。宇宙空間の安定利用、そしてサイバーや電磁波といった新たな領域での運用が求められる中、日米の連携はもはや不可欠です。そのような中で、今年度末、航空自衛隊が「航空宇宙自衛隊」へと改編されることは、極めて歴史的な意義を持つ大きな転換点です。これは、宇宙領域を陸、海、空と同等の作戦空間と位置づけ、我が国の国民生活の基盤としての民間を含む我が国の宇宙利用を確保するため、幅広い能力を構築・強化していくという我が国の強い決意の表れです。この先も日

米双方が宇宙空間での防衛協力関係を一層深化させ、同盟の抑止力・対処力を飛躍的に向上させるものと期待しております。

在米国日本大使館においても、退役、現役を問わず、数多くの米軍将官に様々なレセプションやイベントに参加頂き、良好な関係構築を行ってきました。在日米軍経験者とその家族を含めたネットワーク強化を図るためのプログラム「JUMP(Japan U.S. Military Program)」、各地でのイベントやレセプション、ソーシャルメディアを通じて広報活動を行い、在日米軍関係者との幅広い交流を図っています。

これからも JAAGA と会員の皆様が国防の現場を預かる自衛官と米軍人同士の厚い信頼関係と両国の絆を繋ぐ揺るぎない礎として、ますます発展を遂げられることを心より祈念いたします。最後になりますが、長年にわたる皆様の献身的な取り組みに対し改めて敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍とご健勝を祈念し、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。創立 30 周年、誠におめでとうございます。

アメリカ合衆国駐在

特命全権大使 山田 重夫